

普及項目	担い手
漁業種類等	採貝漁業
対象魚類	アサリ
対象海域	八代海

不知火地区漁業士会活動支援

県南広域本部水産課・島田 小愛、川崎 信司

【背景・目的・目標】

不知火地区漁業士会は、意欲ある漁業の担い手の育成、魚食普及、漁業所得の向上を目的として、漁業体験教室、料理教室及び地域水産物のPR活動を行っている。

八代海北部の干潟漁場におけるアサリ資源は、令和2年7月豪雨の影響により甚大な被害を受けた。その後、当水産課を中心とした普及活動により、アサリは被覆網で管理しなければ、漁獲できないことがわかった。この状況を踏まえ、不知火地区漁業士会では、アサリの付加価値を向上させるため、グリコーゲン分析し、旬の時期に限定した販売を目指した取り組みについて検討を進めていた。当水産課では、その取り組みを後押しするとともに、月1回のアサリのグリコーゲン分析を漁業士とともに行うことを目標とした。

【普及の内容・特徴】

アサリが一番おいしい旬の時期に、期間限定のブランド商品として販売していくため、八代市大島地区のアサリのグリコーゲンの季節的な変動を分析した。

採捕場所：八代市大島地区の干潟漁場

調査期間：令和3年（2021年）11月8日から令和4年（2022年）3月29日の期間において、9回のサンプリングを行った。

分析方法：各回、30個体のアサリの殻長、殻高、殻幅、重量を測定するとともに、肥満度を算出して身入りの状況を把握した。また、5個体については、グリコーゲンを分析した。なお、測定、分析については熊本県水産研究センター食品科学研究部の指導・助言を得て、同センターのオープンラボを活用して実施した。

【成果・活用】

グリコーゲン量は2月～3月に高くなる結果となった。八代海のアサリは春と秋に2回の産卵時期があるといわれており、2月～3月は産卵前の身に栄養を蓄えた状態であり、この時期がアサリの旬である可能性が推測された。今後も、不知火地区漁業士会が実施するこの取り組みの支援を行い、消費者に八代海産の最もおいしい時期のアサリを提供することにより、価格向上につながることを期待したい。

【達成度・自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）



図1 八代海の八代市大島地先の位置図



図2 大島地先アサリ漁場状況 (R3. 9. 10)



図3 サンプルに用いたアサリ



図4 水研オープンラボでの分析



図5 期間中のグリコーゲンの推移